

◆◆◆◆◆大気環境学会ニュース◆◆◆◆◆

第63回大気環境学会年会のお知らせ(第5報)

第63回大気環境学会年会および併設の環境機器展を下記のとおり開催いたします。多数の会員のご参加をお待ちしております。

名誉年会長: 吉村 洋文(大阪府知事)
学 会 長: 伊豆田 猛(東京農工大学)
年 会 長: 竹中 規訓(大阪公立大学)
実行委員長: 板野 泰之(大阪市立環境科学研究センター)
事務局 長: 藤井 佑介(大阪公立大学)

会期: 2022年9月14日(水)～16日(金)
会場: 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市中央区学園町1-1)
年会ホームページ: <https://sec.tobutoptours.co.jp/2022/jsae63osaka/>

第63回大気環境学会年会に関するお問い合わせ先:

大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 環境物質化学研究グループ
〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-1
TEL: 072-254-6546 FAX: 072-254-9322
E-mail: gr-sss-jsae63@omu.ac.jp

発表申込み・参加登録に関するお問い合わせ先:

東武トップツアーズ株式会社堺支店(第63回大気環境学会年会担当)
〒590-0076 大阪府堺市堺区北瓦町1-3-17堺東センタービル3F
TEL: 072-221-5151 FAX: 072-221-7518
E-mail: jsae63osaka@tobutoptours.co.jp
受付時間: 平日9:30～17:30(土日祝日休み)

【注意点】

- ・第63回大気環境学会年会の開催について、対面で開催する方向で決定いたしました(一部、対面とオンラインの併用のプログラム有(公開シンポジウム等))。
- ・対面開催にあたり、各会場への入場規制などの予防対策を講じる可能性がありますのでご了承ください。
- ・子育て支援の一環として、一時預かり可能な保育施設を紹介します。詳しくは年会ホームページを御覧ください。
- ・懇親会については新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を見合わせることにしました。
- ・事前払込(期限: 8月10日(水))をご利用いただきますと参加費に割引料金が適用されます。可能な限り事前払込をご利用ください。
- ・参加費にはプログラム集(冊子体)および講演要旨集データ(電子体)代が含まれます。
- ・法人会員Bおよび協賛会員には年会開催後に講演要旨集データを送付します。
- ・年会開催前に発行される学会誌にプログラムを掲載します。
- ・参加申し込みには会員番号が必要です。事前にご確認をお願いします。

1. プログラム (予定)

日程	午前	午後
9月14日(水)	一般口頭発表	ポスター発表、日中韓国際交流シンポジウム、特別集会、分科会
9月15日(木)	一般口頭発表	年会総会、受賞記念講演、公開シンポジウム
9月16日(金)	一般口頭発表	一般口頭発表、特別集会

*期間中は全日、環境機器展を開催します。様々な最新機器が展示されますので情報収集などの機会としてご参加ください。

また、これに関連する技術セミナーを期間中の「12:10~12:50」に開催する予定です。

*口頭発表では初日に学生・若手研究者向けセッションを設ける予定です。

2. 年会参加登録

2.1 年会参加登録方法

年会ホームページからの参加登録とします。登録後に確認のメールが自動送信されますので内容をご確認ください。

2.2 年会参加費および事前払込割引(期限8月10日(水))

当日支払いの参加費は高額となりますので、できるだけ事前払込(期限: 8月10日)をお願いします。また、参加費にはプログラム集および講演要旨集データ代が含まれています。年会ホームページの案内に従って、クレジットカード、または銀行振込みでお支払い下さい。

	参加費	
	事前払込	当日
正会員	¥7,500	¥10,000
賛助会員	¥7,500/人	¥10,000/人
法人会員B	¥7,500/人	¥10,000/人
学生会員	¥3,500	¥5,000
法人会員A	¥10,000	¥12,000
名誉会員	招待	
非会員	¥10,000	¥12,000

2.3 講演要旨集(PDFファイル)について

参加登録者は、年会ホームページにて講演要旨集データ(PDFファイル)を閲覧、ダウンロードできるようにします。

2.4 プログラム集の配布について

プログラム集(冊子体)は当日配布とし、事前送付はいたしません。なお、今回の年会では講演要旨集(冊子体)は配付いたしません。講演要旨集(冊子体)の購入をご希望の場合は、2.5をご参照ください。

2.5 プログラム集および講演要旨集のみの販売

講演要旨集(冊子体)の購入を希望される場合、年会ホームページの案内に従って申込み、代金を払い込んで下さい(1冊5,000円・送料込み)。本冊子体の発送は9月上旬頃の予定です(事前払込期限(8月10日(水))までにご対応いただいた場合)。

※年会に参加しない方も講演要旨集(冊子体)の購入は可能です。詳しくは年会ホームページを御覧ください。

2.6 個人情報の取り扱いについて

参加登録者から取得した個人情報は、年会の運営に係わる適正な利用範囲(事務局からの問い合わせ、補助金申請のための名簿作成等)に限り使用し、他にご本人の同意なく第三者に提供することはありません。

3. 公開シンポジウム「新生大阪公立大学が拓く脱炭素社会実現への道」

日時: 9月15日(木) 15:00~18:00

講演者および演題:

辰巳 砂 昌弘 (公立大学法人大阪 大阪公立大学 学長)

「大阪公立大学の開学と全固体電池の開発」

金森 佳津 (大阪府環境農林水産部 環境政策監)

「脱炭素社会に向けた大阪府における取組み」

除本 理史 (公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院経営学研究科 教授)

「自動車の「社会的費用」: 排出ガス対策から脱炭素へ」

前田 泰昭 (大阪府立大学 名誉教授)

「公立大学大阪(大阪府立大学)で実施された大気化学の研究成果」

4. 日中韓国際交流シンポジウム「For a better understanding of air pollution in East Asia (2nd)」

日時：9月14日（水）13:00～15:30

講演者および演題（予定）：

Jun-ichi Kurokawa (Asia Center for Air Pollution Research)

「Progress and future of Acid Deposition Monitoring Network in East Asia (EANET)」

Satoru Chatani (National Institute for Environmental Studies)

「Numerical analyses of source sensitivities of ambient PM2.5 and ozone over Japan」

Li Hong (Chinese Research Academy of Environmental Sciences)

「Processes and Experience of Anthropogenic VOCs management and control in the USA and enlightenment to China」

Ji Dongsheng (The Institute of Atmospheric Physics, Chinese Academy of Sciences)

「Significant reduction in atmospheric organic and elemental carbon in PM2.5 in 2+26 cities in northern China」

Yang Xiaoyang (Chinese Research Academy of Environmental Sciences)

「Ship-based observations of atmospheric trace elements at a port and its offshore area in northern China.」

TaehYoung Lee (Hankuk University of Foreign Studies)

「Airborne measurements of Chemical Composition and Evolution of Atmospheric Aerosols on the Large Point Sources」

JiYi Lee (EWA WOMANS University)

「Spatiotemporal distributions of mass and chemical compositions of PM2.5 during the winter period in Northeast Asia」

The National Air Emission Inventory and Research Center

「Introductory Presentation」

5. 特別集会・分科会

5.1 特別集会

	タイトル	開催日時	担当者（所属）
1	大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響	9月14日（水） 13:00～15:30	大河内 博（早稲田大学）
2	大気化学研究の新展開—オゾン生成機構解明とオゾン生成におけるエアロゾルの役割—	9月16日（金） 13:00～15:30	梶井 克純（京都大学・国立環境研究所） 坂本 陽介（京都大学・国立環境研究所） 村野 健太郎（京都大学）

5.2 分科会 開催日時 9月14日（水）16:00～18:30（終了時間は分科会ごとに異なります）

	分科会	テーマ	担当者（所属）
1	都市大気エアロゾル分科会	有機エアロゾルの特性と発生源にせまる	池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）
2	酸性雨分科会	大気環境とそれからつながる同位体分析	山口 高志（北海道立総合研究機構）
3	大気環境モデリング分科会	大気汚染対策効果評価に資するシミュレーション支援システムに係る研究開発	櫻井 達也（明星大学）
4	環境大気モニタリング分科会	新規の大気汚染物質計測と解析手法の紹介と課題	中嶋 吉弘（東京農工大学）
5	健康影響分科会	大気汚染の健康影響として標的となる器官および疾患の多様化：毒性メカニズムの共通点と相違点	伊藤 剛（日本自動車研究所）
6	植物分科会	大気汚染物質に対する植物応答に関する最近の話題	渡辺 誠（東京農工大学）
7	室内環境分科会	TVOCってどうなったんだろう？ ～現状と今後のあり方～	篠原 直秀（産業技術総合研究所）
8	臭気環境分科会	臭気苦情対応の実際と最近の消臭技術—堺市の事例及び消臭剤メーカーの取組み紹介—	佐藤 博（長崎国際大学）
9	放射性物質動態分科会	東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質の動態	渡邊 明（気候変動研究所） 大原 利真（埼玉県環境科学国際センター）
10	モビリティ環境分科会	脱炭素社会を目指す政策とモビリティ環境の変化	戸野倉 賢一（東京大学）

6. 環境機器展・技術セミナー

大気環境関連の計測機器、分析機器、調査システム、自治体による環境問題への取組等の展示と説明を行います。

〈環境機器展〉

日時：9月14日(水)～16日(金) 9:00～17:00(最終日は15:00終了予定)

〈技術セミナー〉

各日の昼の時間帯(12:10～12:50)に、環境機器展出展企業等による技術セミナーを開催します。会場内にはセミナー参加者用に数量限定で弁当・飲み物を用意します。

7. その他

子育て中の研究者支援の一環として、年会ホームページにて一時預かりが可能な保育施設を紹介しております。

例年対面開催の際に年会総会と合わせて開催されていた定時総会は、本年は年会中ではなく、9/9(金)にオンラインを基本としつつ少人数が基地局に参集する方法(ハイブリッド型ヴァーチャル方式)で開催いたします。詳しくは会員向けメーリングリスト等でお知らせいたします。

その他、年会に関する情報は随時ホームページにてお知らせします。